

2019年度 事業報告

特定非営利活動法人

町田市学童保育クラブの会

I. 法 人 事 業

1. 組織運営

1) 理事会

	日程	内 容
第64回	5月19日	2018年度 事業報告・決算、就業規則一部改正、保育指針一部改正、保育理念文書・倫理綱領一部改定、定期総会招集
第65回	7月13日	理事長の選任について
第66回	11月23日	第一次補正予算、給料規定一部改正、定款一部改正
第67回	3月22日	2019年度 第二次補正予算、2020年度 事業計画・予算、旅費規程一部改正、給料規定一部改正、一般事業主行動計画策定

2) 評議員会

評議員は定期総会で選出し、理事会の諮問機関の役割を担うものとして、年3回開催した。

	日程	内 容
第21回	5月19日	2018年度 事業報告・決算、保育指針一部改正、 保育理念文書・倫理綱領一部改定
第22回	11月23日	2019年度 事業経過報告
第23回	3月22日	2020年度 事業計画・予算

3) 事務局

(1) 事務局は理事会の日常業務の執行機関であり、組織運営に関する業務を行う。

- ① 4月～6月：事業報告書および決算書を作成し、関係諸機関へ提出。
- ② 6月：定期総会を開催、町田市の管理運営状況評価（モニタリング）を作成。
- ③ 8月：大戸のびっ子クラブ指定管理者選定準備。
- ④ 理事会および評議員会の議案を作成し、運営。
- ⑤ 特別保育の利用料徴収業務を行う。
- ⑥ 関係諸機関・団体との連携を図る。

(2) 事務局会議を毎月開催し、法人組織の機関会議として様々な課題の検討を行う。

	内 容
4月	くれよんキッズ春企画報告、各クラブの状況報告
5月	職員配置、夏期アルバイト、人材確保について、定期総会にむけて
7月	施設長会議報告、利用者アンケートについて、南カフェ・町カフェ参加について
8月	おやつ賞味期限の事故、にじいろキッズ（くれよんキッズより名称変更）夏企画報告、9月運営委員会の内容確認、大戸のびっ子クラブ指定管理者再選定について、利用者アンケートについて

9月	各クラブの状況報告、人事委員会スケジュールについて
10月	利用者アンケート回収率、ぷちくれよんひろばアンケートについて、11月運営委員会、理事会・評議員会の内容確認
11月	2018年度モニタリング結果、利用者アンケート回答について、2020年度職員配置、昇級試験について
12月	各クラブの状況報告、データのクラウド化、保育指針、年間保育計画、2020年度調査研究委員会について
1月	職員体制、財務モニタリング結果、3月理事会、2020年度事業計画について
2月	2020年度事業計画、定数協議報告、2月運営委員会内容確認、入会のしおり改定
3月	施設長会議報告、2020年度事業計画、2020年春にじいろキッズ開催について

4) 委員会活動

(1) 人事委員会

人事委員会は、正規職員の採用および配置、昇級試験を中心とした活動を行った。また、組織として職員の人事に関する情報を把握することに努めた。

	内 容
4月	2019年度 正規職員選考 (欠員のため)
7月	2020年度 採用計画 第1回正規職員募集、昇級試験について
9月	2019年度 正規職員選考 (欠員のため) 2020年度 第1回職員選考、昇級試験について
10月	2019年度 正規職員選考 (欠員のため)
11月	2020年度 昇級試験
12月	2020年度 昇級試験 2020年度 正規職員選考
1月	2020年度 正規職員選考
2月	2019年度 職員配置決定
3月	2020年度 正規職員選考

(2) 運営委員会

運営委員会は、①組織・事業全般に関し、理事と施設責任者で業務執行状況の確認および調整、②組織内の重要事項の確認、伝達等、③保育指針・倫理綱領の検討を行った。

	内 容
4月	各クラブ新任職員の報告、専門性プロジェクト企画案
6月	施設長会議、2018年度モニタリング、各プロジェクト・担当報告、保護者会活動について
9月	正規職員の報告、保育指針・人材育成課業分析 検討
11月	施設長会議報告、利用者アンケート回答、上半期苦情報告
2月	職員によるプロジェクト等の報告、保育計画・人材育成課業分析・保育指針・団体会員についての呼びかけ文の検討

(3) 苦情解決委員会

苦情解決制度に基づき、第三者委員を含め苦情解決委員会を5月、11月に開催した。各クラブに寄せられた苦情内容を第三者委員へ報告し、検証を行った。

(4) 調査研究委員会

各保護者会の協力のもと、調査研究委員会を開き「学童保育所保育指針」の改定にむけて検討を行った。

5) 施設責任者会議

毎月開催し、職員研修、施設・組織運営に関する諸課題について検討を行った。また、必要に応じて臨時責任者会議を開催した。

	内 容
4月	正規全体会議議題検討、専門性PJの方向性について
5月	町田市事業報告書、非常勤研修の年間予定について
6月	夏休みしおり、新たなまちともとの合同訓練、行事、6月保護者会懇談会議議題検討について
7月	新たなまちともとの合同訓練、9月運営委員会議題検討
9月	9月保護者会懇談会議議題検討、運営委員会の報告事項、新たなまちともとの合同訓練について、
10月	課業一覧、おやつ賞味期限切れ、11月運営委員会議題検討
11月	3学期非常勤研修内容検討、利用者アンケートの回答、自己評価の実施について
12月	3学期非常勤研修内容検討、保育指針、広報紙くれよんについて
1月	2020年度調査研究委員会、課業一覧、振り返りチェックシートについて
2月	保育指針、保護者会活動について (臨時) 新型コロナウイルスコロナ対応について

6) 職員会

(1) 正規職員全体会

職員教育および情報共有を目的に、施設責任者が運営を担当した。

(2) ブロック会議

毎月ブロック会議を開催し、施設運営（事故対応、苦情解決、施設の管理等）に関する情報共有および業務改善への指導を行った。情報を共有することで、正規職員の職員教育および業務標準化を図った。

(3) プロジェクト等、課題別の会議

① ぷちくれよんひろば

乳幼児と保護者を対象とした「ぷちくれよんひろば」の企画、教材の整備、季刊紙「ぷちくれだより」を発行した。

ぷちくれよんひろばホームページにて、季刊紙「ぷちくれだより」を掲載した。また、次回の企画の内容のお知らせを行い、利用者への情報提供を行った。

また、12～1月に行う利用者アンケートは、登録者全員へアンケートを行った。

②にじいろキッズ

にじいろキッズの利用対象者を拡大する検討を行った。2021年度より高学年保育が開始された際に、にじいろキッズの利用希望を把握するために保護者へのアンケートを予定していたが実施できなかった。今後の高学年の居場所事業の在り方の検討、アンケートの実施と共に次年度の課題とする。また、報告集のレイアウトを変更し、読みやすくした。

③保育指針

『学童保育クラブ保育指針』（第二版）の改定作業を行った。今年度は、第5章3「遊び・活動・教材の準備と研究」、第5章4「特別な援助を必要とする子どもへの配慮」、第7章「保護者とともにすすめる子育て」の文章改定を行った。

調査研究委員会を8回行い、保護者、職員と共に学習会をもとに意見交換を行い改定の作業を行った。

④広報紙くれよん

年間計画に従って、広報紙の記事編集、発行を行った。紹介する記事内容がクラブにより偏りが無いよう配慮した。地域の方に着目した紙面づくりを意識し活動したが、保護者の声を取り入れた記事が少なかったため、次年度以降のテーマとし、記事内容の充実が課題である。

⑤専門性プロジェクト

責任者が人材育成担当と年間保育計画担当に分かれ、保育の質の向上と標準化を目指し検討を行った。

人材育成担当では、保育の振り返りシートの作成と職制区分ごとの課業一覧表の見直しを行った。保育の振り返りシートは、1. 保育理念、2. 育成支援（保育に関すること）、3. 社会人マナー（自身の立ち振る舞いや考え方について）の3つの項目に分けた自己チェックシートを作成した。課業一覧表については、非正規職員と正規職員の業務内容を明確にし、課業内容と等級別習熟度の見直しを行った。

保育の質の向上を目的に年間保育計画を全クラブ統一のものとして作成し、年間保育計画を2020年度より活用する。また、生活プログラムのアンケートを各クラブから取り、「生活の流れを作る時の留意点」に沿って集約し、保育の現状の課題をまとめた。2020年度は、「生活の流れを作る時の留意点」を元に、保育について職員の学習会を行う予定である。

2. 人財育成

1) 全国学童保育連絡協議会主催

名 称	場 所	参加者
全国学童保育指導員学校	神奈川県立保健福祉大学	39名
全国学童保育研究集会	京都パルスプラザ 龍谷大学深草キャンパス	14名

2) 児童青少年課主催 研修会

(1) 放課後児童支援員資質向上研修

日 程	テーマ	場 所	参加者
5月22日	子どもの権利擁護・人権の尊重	市役所	31名
6月24日	子どもの遊びや生活の環境の理解	市役所	25名
7月12日	震災（大地震）への備え・対応・計画	町田市文化交流センター	26名
9月5日	チームワーク	町田市民フォーラム	25名
9月27日	KYT（危険予知訓練）事故防止	市役所	28名
10月29日	発達に障害のある子どもの理解	市役所	47名
12月16日	発達障がい児の理解と支援	町田市文化交流センター	39名
2月14日	アナログゲームで育てるコミュニケーション力	町田市文化交流センター	40名

(2) 情報交換を主な目的とした交流研修会

日 程	テーマ	場 所	参加者
11月14日	①児童の権利	市役所	4名
	②遊び		3名
	③クレーム対応		4名
	④狭あい化		4名
11月19日	①保育環境		1名
	②おやつ		3名
11月19日	③個人面談・懇談会		4名
11月27日	①工作		2名
	②安全対策		4名
	③職員間の連携		3名
	④新まちともとのかわり方	5名	
11月29日	①気になる子の支援	3名	

3) 子育て推進課主催の研修

日 程	テーマ	場 所	参加者
6月12日	子育て支援に求められる機関としての役割とその連携の在り方	町田市教育センター	11名
7月1日	町田市の目指す子育て支援機関の連携		8名
10月25日	相談援助の基本（初級）	市役所	6名
11月26日	相談援助の基本（中級）		5名
12月3日	組織で対応（上級）		5名
1月17日	児童虐待の予防にむけた地域支援の実践およびその可能性		1名

4) 職場内研修

(1) 初任者・常勤職員（有期雇用）研修

日 程	テーマ	場 所	参加者
4月25日	個人情報保護	成瀬中央あおぞら	3名
5月23日	安全管理と危機管理	高ヶ坂けやき	3名
6月28日	メンタル対策にむけて ～セルフケア～	高ヶ坂けやき	23名 (うち10名 非常勤職員)
7月11日	記録の取り方①	南大谷クラブ	2名
10月9日	保護者との関わり	成瀬中央あおぞら	10名 (うち7名 2年次)
11月21日	苦情解決①	成瀬中央あおぞら	2名
12月6日	発達	なかよし	4名
1月23日	集団作り	高ヶ坂けやき	3名

(2) 中堅者研修

日 程	テーマ	場 所	参加者
5月23日	苦情解決②	函師クラブ	9名
	実践検討①	金井クラブ	18名
7月11日	OJT 担当者研修	鶴川クラブ	3名
9月25日	福祉サービスの組織性②	金井クラブ	11名
10月9日	保護者会支援	そよかぜクラブ	9名
10月9日	実践検討②	金井クラブ	17名
11月21日	福祉サービスの組織性①	そよかぜクラブ	8名
	人事考課	金井クラブ	9名
12月10日	子育て支援	なかよしクラブ	4名
1月23日	実践検討（2年次グループ）	金井クラブ	6名
2月21日	実践検討（4年次以上グループ）	金井クラブ	8名

(3) 管理者研修

日 程	テーマ	場 所	参加者
5月30日	人事考課研修	高ヶ坂けやきクラブ	8名
10月10日	苦情解決③	高ヶ坂けやきクラブ	9名
11月28日	自己啓発	高ヶ坂けやきクラブ	9名

(4) 非常勤・非正規常勤職員研修

日 程	テーマ	場 所	参加者
7月3日	小児救急看護・感染管理・精神看護	町田文学館 ことばらんど	47名 (うち17名 正規職員)
12月20日	保育理念文書	町田文学館 ことばらんど	60名
2月20日	学童保育クラブ保育指針第二版	町田市民フォーラム	55名

5) 資格習得

種 別	参加者
放課後児童支援員	1名 非正規常勤職員1名 非常勤32名
普通救命救急	2名
上級救命救急講習	8名
防火防災管理者講習	6名

6) 東京都社会福祉協議会主催の研修

時 期	研修名	参加者
9月13、14日	キャリアパス生涯研修過程 中堅職員研修	2名
10月1、2日		
12月17日	職員が安心して働ける職場をつくるために	2名

7) 事務局研修

時 期	研修名	参加者
11月14日	子供が輝く東京・応援事業 成果連動型助成研修会	1名
12月4日	福祉現場の働き方改革への対応と注意点	1名
2月10日	公正採用選考と会社を元気にする人権	1名
2月17日	部下との信頼関係を築く育成面談研修	1名

8) その他

時 期	研修名	主 催	参加者
9月14日	喘息・食物アレルギー緊急時対応研修	東京都福祉保健財団	3名
10月4日	地域子育て支援機関研修 子どもの虐待問題の理解	東京都福祉保健局	3名
12月17日	東京都児童館等職員研修 配慮を必要とする児童への対応	東京都福祉保健局	2名
12月9日	市内福祉事業所職員向け研修 ESとクレーム対応	町田市社会福祉協議会	14名
1月15日	運営者協議会合同初任者研修 子どもの心に響く声かけ	運営者協議会	16名
1月24日	東京都児童館等職員研修 児童虐待対応における児童館の役割	東京都福祉保健局	2名
1月28日	運営者協議会合同初任者研修 子どもとの適切な距離感	運営者協議会	10名
1月29日	運営者協議会合同初任者研修 福祉現場におけるリーダーのためのコミュニケーション技法	運営者協議会	9名
2月7日	放課後子供総合プラン研修 発達障害のある子供の理解とその支援について	東京都	3名

3. 啓発活動

1) ニュース発行

(1) 広報紙「くれよん」の発行

法人の広報紙「くれよん」を隔月で1300部発行した。子どもに関わる活動をしている地域団体へ記事依頼（子ども食堂、駐在所）やクラブに来ていただいているボランティア団体の紹介、法人の活動報告（研修報告、キッズ・ぷちくれ）、各クラブの取材記事等を掲載し、隔月で年6回発行をした。ソフトボール大会の記事について号外で発行計画を立てたが、今年度は大会が中止となったため発行しなかった。また卒業後の生活アンケートを保護者の声として載せた。

(2) 「ぷちくれよんだより」の発行

「ぷちくれよんひろば」を利用する保護者にむけて、毎回の企画の紹介や、子育てに役に立つ情報を中心に「ぷちくれだより」を3回発行した。特集として、「離乳食について」「秋の工作」「体調について」、を掲載した。

2) ホームページの充実

法人ホームページは事務局にて管理を行ったが、広報紙を適宜更新することができなかった。ぷちくれよんひろばのページにぷちくれだより、次回の企画の紹介を随時、掲載した。ページによっては、更新されていないところもあり、見直しとリニューアルなど法人の情報発信の重要なツールとして、充実を図ることが課題である。

3) 「日本の学童ほいく」誌の普及

「日本の学童ほいく」誌は日本で唯一の学童保育に関する専門雑誌である。2019年度は60部の購読申込みがあったが、前年度比で3部減となり、職員のみ申し込みとなった。

4. 子育て支援事業

1) ふちくれよんひろば（乳幼児の子育て支援事業）

地域の乳幼児とその保護者の「孤立した子育て」をなくし、子育て支援ネットワークづくりに貢献することを目的に、「ふちくれよんひろば」事業を5カ所で実施した。新年度に小学校低学年のお子さんがある家庭に「ふちくれよんひろば」のチラシの配布と地域子育てセンターにチラシを置かせていただき、地域に根差した広報活動の充実を図ることができた。

12～1月に実施した利用者アンケート（回答数25）では、利用者の目的や興味を知るための質問項目を設定した。

昨年度より継続して民生児童委員を通して、そよかぜクラブに「見守りボランティア」に入って頂いた。今後も、地域子育てセンター及び関係機関と連携・協同のもと、乳幼児の子育て支援事業の充実を図っていく。

クラブ名	登録世帯数		年間延べ利用数		平均利用人数	
	2018年度	2019年度	幼児	保護者	企画日	開放日
金井	11	10	28	26	3.3	1.2
図師	7	5	7	6	0.7	0.3
そよかぜ	27	21	100	88	8.3	5.9
どろん子	18	10	16	15	2.1	0.5
南大谷	12	18	61	58	5.7	3.2
計	75	64	212	193		

質問項目	1	2	3	4
目的	遊び場	自宅から近い	企画	子どもの交流
利用してよかった	企画	遊び場	スタッフの対応	親同士の交流
よかった企画	うちわ作り	手形・足形	リズム遊び	風船遊び
利用している他の施設	子どもセンター	保育園	図書館	学童保育クラブ

2) 子どもの居場所事業（にじいろキッズ）

春企画の際に卒会生より新しい名称を募集し、くれよんキッズから「にじいろキッズ」へと名称を改めた。学童保育を卒会した4年～6年生を対象に、春休み・夏休みに5地区で実施した（相原地区（のびっ子クラブ）は参加者がいなかったため開催しなかった）春休みは中学1年生も対象とし、2名の参加があった。夏休みには染め物や食事作り、工作等を楽しんだほか、地域の子どもや学童保育クラブの子ども達を招待した「夏まつり」等、高学年が活躍することを意識した企画を行った地区もあった。例年

は全地区が集まり合同行事を行うが、今年度は猛暑のため中止となった。また、学生ボランティアを3名・2地区で受け入れた。

春・夏ともに報告集を作成し、保護者および学校等に配布した。また、「にじいろキッズ」の活動の様子は、ホームページに掲載した。

(1) 春休み企画

高ヶ坂地区	4年	5年	6年	中1	計	前年度
けやき	4	3	2	0	9	/
南大谷	4	5	4	0	13	
計	8	8	6	0	22	

鶴川地区	4年	5年	6年	中1	計	前年度
鶴川	7	10	1	1	19	/
大蔵	12	2	1	1	16	
金井	0	1	0	0	1	
計	19	13	2	2	36	

忠生・函師地区	4年	5年	6年	中1	計	前年度
函師	4	3	1	0	8	/
なかよし	7	0	0	0	7	
計	11	3	1	0	15	

南地区	4年	5年	6年	中1	計	前年度
どろん子	4	0	0	0	4	/
つくし野	5	1	1	0	7	
わんぱく	5	4	1	0	10	
計	14	5	2	0	21	

成瀬地区	4年	5年	6年	中1	計	前年度
そよかぜ	4	0	1	0	5	/
あおぞら	3	7	5	0	15	
計	7	7	6	0	20	

	4年	5年	6年	中1	計	前年度
総計	59	36	17	2	114	101

(2) 夏休み企画

夏休み 地区別 利用状況						
	相原	鶴川	忠生	南	高ヶ坂	成瀬
申込(登録)	0	42	21	26	28	15
のべ 人	0	170	87	111	102	46
平均 人	0.0	17.0	8.7	11.1	10.2	4.6
開催日数	0	10	10	10	10	10
利用率	0%	40%	41%	43%	36%	31%

5. 保護者会活動への支援

保護者同士が子育ての悩みを共有し経験を交流しあえる場となるよう、保護者会活動の支援を行った。

1) 各保護者会と法人との懇談会

各クラブ保護者会相互の交流を図るとともに、法人との情報交換および連携を深めるため懇談会を定期的で開催した。保護者会の活動について、役員や実行委員会の選出方法等、各クラブで工夫していることや悩み等を交流した。

	内 容
5月	自己紹介、保護者会活動について
6月	1学期の保護者会活動、活動報告、行事の参加について
9月	クラブのおまつりの内容について、役員選出について
2月	新型コロナウイルス感染防止のため中止

2) 保護者会交流行事

毎年実施しているソフトボール大会は、実行委員会が中心となり準備を進めたが、天

候不順のため中止となった。

6. 関係団体・機関との連携

1) 行政との連携

- (1) 事務局が窓口となり、児童青少年課と日常的な情報交換を行う。また、児童青少年課主催の施設長会議に出席した。
- (2) 地域子育て支援ネットワーク連絡会に施設責任者が参加し、学校や保育園、民生児童委員等と、児童虐待防止および子育て支援に関する情報交換を行った。児童に関する具体的な支援に関して、子ども家庭支援センターおよび児童相談所と連携した。
- (3) 「特別支援学校連絡協議会」に参加し、特別な支援を必要とする児童の保育に関し、連携を図った。
- (4) 東京都子供・子育て会議委員を依頼され、職員を派遣した。

2) 学童保育に関する団体との連携

- (1) 学童保育に関する課題が生じた際、「町田市学童保育クラブ父母会連絡協議会」（父連協）との連携を図っているが、2019年度は特に課題がなかった。
- (2) 7月に行われる「町田市学童保育を考える会」の総会へ出席した。

3) 他の学童保育事業を行う法人との連携

- (1) 町田市学童保育運営者協議会
市内で学童保育を運営する他の法人と情報交換を行った。また、1月に行われた運営者協議会主催の合同研修会の実施に向けて協力を行った。初任者・中堅者・管理者むけの階層別研修を通して、資質の向上を図ることができた。
- (2) 町田市社会福祉協議会（社協）
社協が主催する児童の絵画展の選考委員、学童保育クラブ障がい児事故防止対策マニュアル等検討委員会委員を依頼され、事務局が協力を行った。必要に応じて学童保育事業担当者と情報交換を行った。

7. 学童保育の充実にむけた運動の支援

町田の学童保育を充実させるために、諸課題に対し運動の支援を行うことを方針としているが、2019年度は具体的な活動を行っていない。

8. 会員拡大

法人の趣旨・理念に賛同する会員を増やすため、これまで会員であった方や、にじいろキッズを利用する卒会生の保護者、ぷちくれよんひろばの利用者等に会員になっていただく呼びかけを行った。会員数が減少しているため会費の使用用途などをホームページ等で周知していく。

(2019年4月1日～2020年3月31日)

区分		2018年度	2019年度
正会員	団体会員	13	13
	個人会員	58	63
賛助会員	個人会員	73	58
計		144	134

9. 事業拡大

当法人は、「子どもは地域の中で見守られながら育つ」「地域の中で子育て支援のネットワークづくりに貢献する」といった考え方を大切にしている。学童保育事業を中核としながらも、地域の子ども達を視野に入れた事業展開を目指しており、相原地区で開催されているゆくのき食堂実行委員会に職員を派遣した。

8月に大戸のびっ子クラブの指定管理者の公募があり、申請書を提出した。12月市議会で当法人が指定され、2020年度より5年間運営をすることが決定した。

10. その他

1) 震災等 支援金活動

各保護者会の協力のもと、全国学童保育連絡協議会が実施している「東日本大震災学童保育募金」および「平成30年7月豪雨学童保育支援募金」「北海道胆振東部地震学童保育支援募金」へ30万円送金し、震災および豪雨で被害にあった学童保育を支援するため、支援金活動を行った。

2) 「南カフェ」「まちカフェ！」への参加

- (1) 南地区協議会より依頼を受け、9月に行われた「南カフェ」にどろん子・わんぱく・つくし野クラブが遊びのコーナーを出店した。
- (2) 12月に行われた、第12回市民協働フェスティバル「まちカフェ！」に理事および事務局が中心となり今年も参加した。実行委員会に参加することで、市内の様々なボランティア団体との情報交換を行うことができた。子どもの遊びコーナーを企画し、多くの子ども達とふれあうことができた。

3) 人材確保の取り組み

(1) 大学訪問等

人材確保のため、事務局より近隣大学（和泉短期大学、駒沢女子大学、相模女子大学、東京家政学院、法政大学）への訪問を行った。また、目白大学より卒業生と在学生との就活交流サロンへの参加依頼があったため、卒業生の職員を派遣した。

- (2) 町田市社会福祉協議会主催合同説明会「福祉のお仕事」に参加し、求人活動を行った。

Ⅱ. 学童保育事業

1. 事業展開 (各クラブ事業報告書：別紙参照)

9月に発表された、2018年度の「公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果（モニタリング）」において、問題点等の指摘事項は特になかった。

また、11月に町田市の財務モニタリングが行われた。2019年度の会計・経理状況について事務局が説明し、帳票類を提出したところ、問題点等の指摘事項は特になかった。

2. 苦情解決

当法人の苦情解決制度は原則として利用者を対象としているが、近隣地域からの苦情にも対応を行っている。

苦情内容は、5月・11月に開催した苦情解決委員会にて第三者委員に報告、および町田市に報告書を提出した。

なお、寄せられたご意見・要望の総数に対する苦情の割合は、右記の通りであった。苦情件数が増加したため、各クラブの報告内容については、クラブの支援員会議で情報共有を行い、同じようなことが起きないように再発防止に努める。

苦情内容	2018年度	2019年度
職員の対応に関する不満	34	42
近隣からの苦情	4	1
その他	3	9
計	41	52

	上半期	下半期	合計
意見等	113	95	208
苦情の割合	24.8%	25.3%	25.0%

3. 事故防止

1) 事故件数 (医療機関にかかった場合)

	児童				職員	児童のケガ	
	傷 害		賠 償			保育中	登下校中
	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度			
大蔵	5	8	0	0	2	8	0
大戸のびっ子	2	1	0	0	1	1	0
金井	6	0	0	0	0	2	0
高ヶ坂けやき	2	2	0	0	0	2	0
図師	6	6	0	0	1	6	0
そよかぜ	7	4	0	2	0	4	0
つくし野	1	5	0	0	0	5	0
鶴川	5	1	0	0	0	1	0
どろん子	3	2	0	0	0	2	0
なかよし	5	4	0	0	0	4	0
成瀬中央あおぞら	2	6	0	0	0	6	0
南大谷	6	6	0	0	0	5	1
わんぱく	2	3	0	0	0	3	0
計	52	48	0	2	4	49	1

2018年度の件数より若干減少した。保育中のケガの大半は打撲・捻挫・切り傷であるが、特に頭・目・歯の打撲や切傷が多かった。また、骨折が7件あった。

2) おやつ提供時の管理

(1) 食物アレルギー対策

マニュアルおよびチェックリストに基づき、全クラブにて毎日のおやつ提供時にアレルギー対策を行った。日々の作業や対応における「ヒヤリ・ハット事例」については、毎月のブロック会議にて報告し、全クラブにて共有化を行った。また、初任者を中心に食物アレルギーに関する研修に参加し、知識および対応方法等を習得した。

(2) 食品の賞味期限の管理

2019年度に3クラブで賞味期限切れのおやつを提供してしまった。一週間ごとに在庫の処分を行うこと、最終確認の徹底を改めて確認した。

4. 利用者アンケート

9月に行った利用者アンケートで、全体的に評価が高いのは、「安全指導」「季節感のある取り組み」「遊具・図書」「指導員の態度・対応」等であった。

全世帯数	回答数	全クラブ平均
912	759	86.40%
	前年度	84.5%

クラブにより若干の差があるものの評価がやや低かった項目は、「子育て相談」「おやつ」子育て相談については、職員の相談援助技術を研修等でスキルアップしていく。また、年度当初に個人面談、懇談会等を開催し、保護者が職員にいつでも相談できる関係を構築していく。「おやつ」については、量が多い、少ないと双方の意見があるため、学年等を考慮し対応していく。また、食品添加物などに配慮しながらメニューを組み立てるようにする。

総合的満足度は13クラブで81%~100%と比較的満足が得られている。しかし、「保護者相互の交流」に関する項目が低く、その内容としては行事等の活動の負担感が大きいことが挙げられるため、保護者同士の交流の在り方を見直す。

分析結果をもとに各クラブで業務改善に取り組み、その結果を保護者へ配布した。回収率に関しては、前年度と比べて向上したが、13クラブで71.3%~98.6%と差があるため、全クラブ80%以上になるよう向上に努める。

5. 保育参加

第3期中期計画に基づき、全クラブにて「保育参加」を実施した。保護者が保育に参加することにより、学童保育クラブへの理解を深め、「我が子と我が子達」の生活を知る機会となった。参加した方の感想は概ね好評であった。

2019年度「保育参加」のべ人数

クラブ名	予定日数	実施回数	人数	クラブ名	予定日数	実施回数	人数
大蔵	3日	3日	4名	鶴川	11日	6日	13名
のびっ子	5日	2日	3名	どろん子	8日	8日	11名
金井	4日	3日	14名	なかよし	4日	4日	12名
けやき	6日	4日	11名	あおぞら	13日	9日	13名
そよかぜ	10日	5日	6名	南大谷	7日	4日	12名
図師	3日	3日	8名	わんぱく	10日	4日	5名
つくし野	6日	6日	17名				

参加人数 129名

6 ボランティア等の受け入れ

各クラブにて地域の団体・個人の方、ボランティアセンター（夏ボラ）を通して、ボランティア、また、中学生の職場体験、実習等の受け入れも行った。

ボランティア受け入れ状況

クラブ名	内容	所属	人数	時期
大蔵	おはなし会	柿の木文庫	4名	通年
	保育サポート	夏ボラ（高校生）	1名	夏休み
	囲碁教室	鶴寿会	2名	通年
	おはなし会	あめんぼ赤いなつるの声	4名	2月
のびっ子	保育サポート	大学ボランティアセンターより	4名	通年不定期
金井	おはなし会	語り部たけのこ	2名	8月
けやき	うさぎの会(お話会)	うさぎの会	8名	通年
	おはなし会	語り部たけのこ	2名	8月
そよかぜ	おはなし会	虹の会	2名	通年
	おはなし会	語り部たけのこ	2名	8月
	紙飛行機体験	町田紙飛行機倶楽部	5名	8月
	認知症への理解	認知症フレンドシップ	3名	7月
図師	保育サポート	個人	1名	5月
	保育サポート	個人	1名	8月
つくし野	おはなし会	個人	1名	通年
	おはなし会	語り部たけのこ	2名	8月
鶴川	おはなし会	花てまりの会	2名	通年
	おはなし会	児童・民正委員	3名	12月
	おはなし会	虹の会	2名	通年
どろん子	おはなし会	語り部たけのこ	2名	8月
	保育サポート	夏ボラ（大学生）	1名	8月
	おはなし会	マーガレット	2名	毎月
なかよし	おはなし会	たつのこ会	3名	奇数月
	スポーツ吹矢	スポーツ吹矢	1名	月1、2回
	保育サポート	個人（高校生）	1名	夏休み
	保育サポート	老人会	4名	3月
	おはなし会	かえで文庫	2名	通年
あおぞら	おはなし会	語り部たけのこ	1名	8月
	保育サポート	夏ボラ（高校生）	3名	夏休み
	おはなし会	うさぎの会	3名	通年
南大谷	保育サポート	個人	1名	通年
	おはなし会	虹の会	2名	通年
わんぱく	おはなし会	語り部たけのこ	2名	8月

職場体験受け入れ状況

クラブ名	受け入れ校	時期
大蔵	南中学校	1月
のびっ子	小山中学校	11月
金井	町田第一中学校	11月
けやき	町田第三中学校	1月
そよかぜ	南中学校	1月
図師	忠生中学校	9月
	小山田中学校	1月
つくし野	つくし野中学校	11月
鶴川	真光寺中学校	11月
	鶴川第二中学校	1月
どろん子	つくし野中学校	11月
	南中学校	1月
なかよし	山崎中学校	11月
	忠生中学校	1月
あおぞら	成瀬台中学校	1月
南大谷	南大谷中学校	9月
	町田第二中学校	11月
	南中学校	1月
わんぱく	つくし野中学校	11月
	南中学校	1月

7. その他

1) 巡回指導・定期点検

保育の質向上のため、マネージャーがクラブを巡回し、保育見学および職員との面談を行う計画であったが、優先度の高いクラブから巡回したため、全クラブ巡回することができなかった。必要な場合は把握した内容を人事委員会に報告した。学期に1回、各クラブの定期点検を行い、個人情報の適正な管理、衛生管理、文書管理方法、整理整頓、火災事故防止に関する指導を行った。また、おやつ代の監査を年間通して行った。

2) 職員のメンタルヘルス

職員の安全衛生を推進するため、セルフチェックを年2回実施した。また、7月に新規採用の職員にむけた講習を実施した。

3) 通所支援事業

都立町田の丘学園に通う児童のうち、通所支援事業（学校のバス停から学童保育クラブまでの職員によるお迎え）の利用者は、1クラブ1名であった。

Ⅲ. 児童数と職員体制

1. 児童数および職員配置 (2019年4月1日～2020年3月31日)

クラブ名	支援の 単位数	職 員			児 童 数			
		正 規	常 勤 (有期 雇用)	非 常 勤	4月1日	増	減	3月31日
大蔵	3	3	2	2	126	3	31	98
大戸のびっ子	1	3	0	0	18	3	4	17
金井	3	3	1	3	93	6	25	74
高ヶ坂けやき	2	2	1	1	57	3	3	57
函師	3	3	3	0	103	5	36	72
そよかぜ	2	3	0	1	48	6	11	43
つくし野	2	2	1	1	69	4	12	61
鶴川	2	4	0	0	71	7	15	63
どろん子	3	2	3	3	113	7	18	102
なかよし	3	3	1	4	88	7	33	62
成瀬中央あおぞら	2	2	1	0	48	3	10	41
南大谷	3	5	1	3	107	12	34	85
わんぱく	2	3	0	1	55	3	11	47
事務局		3	0	1				
計	31	41	14	20	996	69	243	822

2. 人事

1) 採用

	雇用形態	所 属	備考
4月1日	正規職員	金井	
		函師	非正規常勤職員より
		函師	非正規常勤職員より
	非正規常勤職員	鶴川	
5月1日	正規職員	鶴川	非正規常勤職員より
5月15日	非正規常勤職員	大蔵	
5月21日	非常勤職員	金井	
5月27日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	
6月6日	非常勤職員	鶴川	
7月3日	非常勤職員	成瀬中央あおぞら	
7月22日	非常勤職員	函師	
7月22日	非常勤職員	南大谷	
7月25日	非常勤職員	金井	
7月26日	非常勤職員	金井	
7月26日	非常勤職員	けやき	
7月26日	非常勤職員	そよかぜ	
8月1日	非常勤職員	金井	

	雇用形態	所 属	備考
8月1日	非常勤職員	南大谷	
8月6日	非常勤職員	金井	
8月7日	非常勤職員	そよかぜ	
8月13日	非常勤職員	函師	
9月1日	常勤職員	なかよし	
9月1日	非常勤職員	わんぱく	
10月1日	非常勤職員	のびっ子	
10月1日	常勤職員	金井	派遣会社より
10月1日	非正規常勤職員	函師	派遣会社より
10月1日	非正規常勤職員	つくし野	派遣会社より
10月1日	非正規常勤職員	南大谷	派遣会社より
11月1日	正規職員	大蔵	
	非正規常勤職員	事務局	非常勤職員より
11月1日	非常勤職員	南大谷	
12月1日	非常勤職員	なかよし	
12月2日	非常勤職員	なかよし	
3月2日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	

他、夏バイト:27名 3月~5月バイト:15名

2) 退職

	雇用形態	所 属
4月17日	非常勤職員	大蔵
4月30日	非常勤職員	大戸のびっ子
5月13日	非常勤職員	のびっ子
5月31日	非常勤職員	けやき
7月31日	正規職員	大蔵
7月31日	正規職員	金井
8月28日	非常勤職員	あおぞら
10月31日	正規職員	函師
12月31日	正規職員	事務局
2月28日	非常勤職員	大蔵

	雇用形態	所 属
3月23日	非常勤職員	どろん子
3月31日	正規職員	大蔵
	正規職員	金井
	正規職員	金井
	正規職員	鶴川
	正規職員	どろん子
	非正規常勤職員	どろん子
	非正規常勤職員	なかよし
	非常勤職員	大蔵
	非常勤職員	金井

	雇用形態	所 属
3月31日	非常勤職員	金井
	非常勤職員	金井
	非常勤職員	金井
	非常勤職員	高ヶ坂けやき
	非常勤職員	高ヶ坂けやき
	非常勤職員	図師
	非常勤職員	そよかぜ

	雇用形態	所 属
	非常勤職員	なかよし
	非常勤職員	なかよし
	非常勤職員	成瀬中央あおぞら
	非常勤職員	南大谷
	非常勤職員	わんぱく
	非常勤職員	わんぱく

3) 異動

異動日	雇用形態	所 属	異動内容
4月1日	正規職員	事務局	成瀬中央あおぞらより
4月1日	正規職員	大蔵	事務局より
		大戸のびっ子	金井より
		金井	南大谷より
		金井	大蔵より
		図師	どろん子より
		どろん子	なかよしより
		なかよし	鶴川より
		南大谷	わんぱくより
	非正規常勤職員	なかよし	大蔵より
	非正規常勤職員	どろん子	正規職員より
4月22日	非正規常勤職員	大蔵	育児休業より復帰
1月18日	非正規常勤職員	つくし野	産休